

やまぜんホームズ (1440)

2018/7 通期は前期の先行投資が寄与して黒字転換へ

フィリップ証券株式会社
TOKYO PRO Market | 住宅建設 | 業績フォロー

BLOOMBERG 1440:JP | REUTERS 1440.T

- 2017/7 通期は、売上高が前期比 30.2%増の 59.32 億円、経常損益、当期損益はそれぞれ赤字転落の 1.12 億円、2.23 億円となった。
- 主力の戸建住宅事業で、転売用土地の販売による貢献利益が前期比 7,173 万円減少し広告宣伝など先行強化したこと等により、飲食事業及びその他事業の営業損失を補填することができなかった。
- 2018/7 通期会社計画は、売上高が前期比 14.6%増の 68 億円、経常利益が 1.15 億円、当期利益が 1.10 億円と黒字転換見通し。2017/7 期の人材採用、広告宣伝など先行投資や経営体質改善が寄与へ。

What is the news?

2017/7 通期は、売上高が前期比 30.2%増の 59.32 億円、経常損益、当期損益はそれぞれ赤字転落の 1.12 億円、2.23 億円。主力の戸建住宅事業で転売用土地の販売による貢献利益が前期比 7,173 万円減少し、2018/7 期に向けた広告宣伝を先行強化したこと等により、飲食事業及びその他事業の営業損失を補填することができなかった。

部門別 3 事業では、①主力の戸建住宅事業は、注文住宅において主力商品「わんこパック」で 156 棟 (2016/7 通期 129 棟) と前期比 20.9%増加。同商品以外の注文・分譲住宅引き渡しは 34 棟 (同 33 棟)、注文・分譲用土地 46 筆、転売用土地 2 筆等の売上から売上高が同 22.1%増の 54.08 億円も、営業利益は同 61.5%減の 6,755 万円と大幅減益。②和・洋と多業態展開の飲食事業は、2017/3 に「だるまうなぎ金城ふ頭店」、2017/5 に「オートレストランそら長島店」をそれぞれ出店。2017/4 に「Löffel (レップェル) 半田店」を業態転換し、「ステーキ和食そら半田店」を開店。一方店舗の固定資産について減損損失 6,790 万円を特別損失として計上。2 店の出店経費やその他店舗の設備充実や修繕費に経費が高み販管費が増加。売上高は 4.72 億円、営業損失が 1.07 億円となった。2016/5 に吸収合併した飲食事業は前年同期比較がない。③その他事業は主力の介護事業で既存の「マミーハウス介護センター」の他、2017/7 に子会社(安寿会を消滅会社として吸収合併。認知対応型・共同生活介護のグループホーム「つばめ」、「ゆのやま」(三重県)の 2 拠点を直轄運営とした。売上高は前期比 17.6%増の 5,078 万円も営業損失 3,651 万円 (2016/7 通期は営業損失 2,533 万円) と赤字が拡大した。

How do we view this?

注文住宅において料金設定がシンプルで価格訴求力のある「わんこパック」を軸に収益拡大を目指す。1 次取得者層がターゲット。アフターフォローの 10 年で 5 回の定期点検、お客様感謝祭実施など三重県と周辺地域での地域密着の事業展開を行っている。2018/7 通期会社計画は、売上高が前期比 14.6%増の 68 億円、経常利益が 1.15 億円、当期利益が 1.10 億円とともに黒字転換の見通し。2017/7 期の人材採用、広告宣伝、販促など先行投資や経営体質改善が寄与することが見込まれる。

業績推移

事業年度	2014/7	2015/7	2016/7	2017/7	2018/7予
売上高(千円)	3,219,623	3,928,576	4,555,303	5,932,369	6,800,000
経常損益(千円)	-316,414	-37,018	75,405	-112,426	115,000
当期純損益(千円)	-318,146	-63,877	34,870	-223,061	110,000
EPS(円)	-212.10	-42.59	23.25	-148.68	68.32
PER(倍)	-	-	21.51	-	7.32
BPS(円)	424.75	382.17	405.42	273.33	-
PBR(倍)	1.18	1.31	1.23	1.83	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	0.00	-

(※)2016/10/31に1:100の株式分割を実施

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

 配当予想(円) - (会社予想)
 株価(円) 500 2017/12/14(基準値)

会社概要

1978年、前野代表取締役社長が独立し、建築リフォーム業を目的としたやまぜん開発(現、やまぜんホームズ)を個人事業として創業。現在のやまぜんホームズは、2003年に資本金1,000万円で設立された。

注文住宅を中核として、地元の三重県のほか、愛知県、岐阜県、滋賀県で事業を展開している。今後も同地域内での事業展開エリアを徐々に拡大し、地域密着と価格訴求力により収益の拡大を目指している。現場第一主義を掲げ、「十年先もお宅でお会いしましょう」の理念のもと、アフターメンテナンスに注力している。2017/3に東京証券取引所 TOKYO PRO Marketに株式を上場した。

企業データ



主要株主(2017/10/30)

	(%)
1.株式会社フロンティア	36.1
2.前野一馬	25.5
3.前野泰宏	19.2

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹

hiroki.i.hara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項＞

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。